

二〇二三年度 札幌大谷大学短期大学部 保育科

一般選抜Ⅰ期・特待生試験

国語総合

注意事項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は8ページあります。
- 3 試験中に印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。

問題一 次の文章を読んで後の問に答えなさい（設問の都合で原文を一部省略・改変した箇所がある）。

言語の意義を探ることも、①ヒトと動物の比較が役に立つ。すでに前章で、ヒトが他者の話を信用するのは、たがいに協力関係にあるからだ
と述べた。私たちは、他者が自分にテウエキな情報をもたらしてくれると思うからこそ、他者の話に耳を傾けるし、より能率のよい情報交換の
手段である「言語」を身につけてきたのである。

動物行動学の研究では、古くからチンパンジーなどのヒトの②「 」（大型霊長類）に言語を学ばせる試みがなされている。初期の試みは
失敗に終わったが、それは言葉を発声する仕組みが大型霊長類に未熟であることが原因であった。今日では、研究者と一緒に生活する中で「絵
文字」を使った会話を訓練すれば、「主語＋動詞＋目的語」の簡単な文なら理解できることがわかっている。

大型霊長類でも協力関係の中で生活するようになれば、かたことの言語を身につけられるので、言語獲得に協力関係が重要であること、大型
霊長類が前言語レベルの知能を有することは明らかになった。けれども、その言語学習の効率性は、ヒトに比べ非常に低い。（A）ヒトは、言
語に必要な協力性や発声機能などの諸機能を、かなり高度に整えた状態で生まれてくると言える。それらの諸機能は、ヒト特有の生活に必要なだ
ったがゆえに、ヒトだけに進化したのである。

（注1）マイケル・コーバリスらは、言語が現れる前のコミュニケーションはジェスチャーなどの「身ぶり」で主になされていたと主張してい
る。大型霊長類の発声機能が未熟であることから、声よりジェスチャーのほうが使いやすかったという可能性は高い。

そこで、ジェスチャーから言語に発展するところで何が起きたかを考えてみよう。言語が生まれることによって、表現の幅が広がった反面、
ウソがつきやすくなったのである。

たとえば、「このあいだ私はマンモスをとってきた」ということを伝えるのに、初期段階では、③とってきたマンモスの立派な牙を掲げて
「マンモス」を理解させていただろう。それが、「マンモス」に相当するジェスチャーが生まれ、牙を掲げなくともすむようになった。

確かに、ある特別なジェスチャーが「マンモス」を意味することを知らせるときには、そのジェスチャーをしながら、マンモスの牙を指さす
ような段階があっただろう。それが、マンモスの意味が集団内に浸透すると、「マンモスの牙」のような証拠が必要ではなくなってくる。証拠が
なくとも何かを伝えられるという方法は、ウソを容易にするのである。

さらに、言語はウソを気軽な行為にしまった。「このあいだ私は昆虫をとってきた」というジェスチャーは、「マンモス」のときのような
大きくて重たい雰囲気とは異なり、小さくちよこまかとした雰囲気だろう。両者をコンドウすることはまずない。

ところが、音声言語「マンモス」に対して、昆虫の音声言語が「モス」（英語で蛾を意味する）だったらどうだろう。「モス」と言うべきと
ころをうっかり「マンモス」と言い間違ってしまうことがあるにちがいない。話し手は、聞き手が自分のことを尊敬のまなざしで見ていること

を不思議に思い、「何か変だな」とよく考えると、先ほど「マンモス」と言い間違っていたことに気づく。後から訂正するのも格好悪いので「もうそういうことになってしまう」と思うのである。こんな経験をすると、「私は「マンモス」をとった」などと微妙な発音をして、聞き手が「マンモス」と聞き間違うことを意図して話すテクニクが生まれる。フェイクの始まりである。

このように音声言語が、ちよつとした発音の違いでさまざまに違った意味を表現できる便利な特徴をもつ反面、ウソやフェイクを容易にしましう実態があるのだ。

さらに言語は、もつと大きなウソに相当する「虚構」ももたらした。この過程も少しエタレンにみていきたい。

④言語の特徴は、今ここで直面している現実世界以外を表現できることである。つまり、「丘の向こうにマンモスがいるぞ」とか、「去年雨が降ったあとにここにマンモスがいたんだ」とか、「また雨が降るとここにマンモスが来るにちがいない」などの、直面していない現在の推測、過去の想起、未来の予測を表現できる。言語がもつ時制や仮定法などがこれを可能にしている。

私たちは、発話文を聞くことによって、今現在では直接体験していない、現在・過去・未来の様子を、直接体験に準じるかたちで想像できる。だからこそ、自分自身は体験していない他者の多くの体験が、他者と共有でき、それらの過去の体験をパターン化して記憶し、未来に起きる事象を高い確率で予想できるのだ。これが、協力集団の作業効率を大幅に高めた。

人類が類縁のチンパンジーと大きく異なつて、文明社会を築く道に進むことができたのは、前章までに述べてきた協力性と、本章に掲げる想像力をヒトが身につけたことが大きな基本要因になっている。両者が揃ったところで、言語の発展が急速に起きて、社会に知識の蓄積が起き、文明構築につながったのだ。

(B)、この想像力が高まったことによる弊害もある。もともと想像力は、情報が少なく不確実な現実を補うものであった。たとえば、「昨日は丘の東側にマンモスがいたが、今日は西側にマンモスがいます。夜のうちに移動したのだ。ならば、移動の経路あたりにワナを仕掛けたらマンモスがとれるだろう」などと働くのである。ところが、東側のマンモスと西側のマンモスは別なマンモスならば、「移動した」という想像は誤りであり、ワナ仕掛けは失敗である。

想像内容はあくまで現実^オに準じるものであり、確実な現実と思わないほうがよい。想像力が高すぎると、想像世界を現実のように思う弊害が生じる。

たとえば、三〇〇年前に起きた火山の大噴火の様子を人から伝え聞けば、身近なことに感じ、経験の共有化ができる。これこそ、想像力のなせるワザである。ところが、大噴火が一〇〇〇年に一度程度の災害であれば、自分が生きるうえでは問題にならない。それにもかかわらず、大噴火を過度に心配してしまうことになる。これが高い想像力の弊害である。理想を言えば、現実から遠いありそうもない経験ほど、想像内容がぼんやりと薄らいでいけば便利そうだが、^⑤人間の想像はそうはなっていない。

火山の大噴火の様子を伝承することには利点があるものの、「それが起きると死んじやうんだ」と想像すれば不安が高じる。そこで人間は、^⑥フアンタジーによる対処を発達させてきた。(C)、「山を守る神様」を想像世界に登場させ、「その神様が頑張っている限りは大噴火しない」などという物語を作成し、それを想像した未来と重ね合わせて安心するのだ。

物語によって築かれた「虚構(フェイク)世界」の存在を、現実と同様に信じることによって未来への不安が軽減し、適度に現実とカ対峙できるのである。この役割を伝統的に宗教が果たしてきたことは、言わずもがなだろう。

(注1) マイケル・コーバリスII ニュージールランドの心理学者。

(石川幹人『だからフェイクにだまされる——進化心理学から読み解く』ちくま新書)

問一 傍線部アゝカの、漢字には読みを付け、カタカナは漢字に改めなさい。

問二 (A) (C) に入る適切な語句を次から選び、記号で答えなさい。同じ記号は二回使用できないものとする。

ア しかし イ さらに ウ つまり エ たとえば オ なぜなら

問三 傍線部①「ヒトと動物の比較」について説明した文として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア チンパンジーも訓練によってヒトと同様の水準で言語獲得が可能となる。

イ チンパンジーはヒトよりも社会性に欠けるため、言語学習の初期段階で問題が生じる。

ウ チンパンジーに言語を学習させることは困難だが、ヒトと比較すると前言語レベルの知能が高い。

エ チンパンジーに言語を学習させることは可能だが、ヒトと比較すると学習効率は低い。

問四 傍線部②の空欄に入る語として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 固有種 イ 外来種 ウ 近縁種 エ 遠縁種 オ 保存種

問五 傍線部③「とってきたマンモスの立派な牙」は、コミュニケーションにおいてどのようなものとして機能していると言えるか。本文中から見つけ、二字以上五字以内で抜き出し、解答しなさい。

問六 傍線部④「言語の特徴は、今ここで直面している現実世界以外を表現できることである」とあるが、言語のどういった特徴が「今ここで直面している現実世界以外」のどのような内容を表現する役割を果たしているのかを、本文中の言葉をもとにして五〇字〜六〇字で説明しなさい。

問七 傍線部⑤「人間の想像はそうはなっていない」とあるが、ここで示されている「人間の想像」とはどのようなものであると考えられるか。本文中の言葉をもとにして二五字〜三〇字で説明しなさい。

問八 傍線部⑥「ファンタジーによる対処」について説明した文として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
ア 物語が提供するファンタジーを信じることで、未来に対する過度な心配を解消し、現実と適度な距離を保って向き合うことができる。

イ 現実を反映した物語ではなく現実離れたファンタジーが、逆説的に現実や未来の不安を取り除き、宗教的な正統性を示している。
ウ 神様などのファンタジー世界の登場人物は、現実逃避を助長させる一方で、未来に対する不安を軽減させることができる。
エ ファンタジーの物語は伝統的な宗教によって支えられているため、人はそれが虚構であることを知りながらも未来の希望を託すことができる。

問九 次の1〜3までの内容が本文の内容と合致する場合には○を、合致しない場合には×をつけなさい。

- 1 人類が文明社会を構築することができたのは、人類が協力を身につけていったためである。
- 2 “マンモス”と“モス”の言い間違いの経験によってのみ、人類はウソやフェイクを容易にすることができたとと言える。
- 3 想像力が高すぎる弊害の一つとして、ファンタジーや宗教に依存するようになってしまいうことが挙げられる。

問題二 次の文章を読んで後の問に答えなさい。(設問の都合で原文を一部省略・改変した箇所がある)。

日本の子育てをめぐる現象として顕著なのが「①育児不安」です。育児をしている人、すなわち母親がイライラや不安を感じている、そうした心理をさす言葉です。この言葉は育児とは無縁な人でも知っています。それは育児不安という現象が一部の特殊な母親に限らず、程度の差はあれ、多くの母親に広くみられるからです。それが嵩(こう)じて育児^アホウキや虐待に陥ってしまうケースも少なくありません。

実は、この育児不安は日本に特徴的な現象なのです。他の多くの国でも、子育てをしているのは母親が中心ですが、日本のように育児不安に悩んでいる例はそれほど多くありません。育児不安への対策なども、日本ほどの問題にはなっていないません。この違いは、いったいどこにあるのでしょうか。

この日本に顕著な②育児不安は、昔からあったものではなく、比較的、最近の現象です。育児不安という言葉は、ここ二〇年ほどで使われるようになった新しい言葉です。女性は結婚し母親になり、母親になれば子を慈しみ子育てするのは当たり前とされます。そこに喜びや生き甲斐を見出しこそすれ、不安や不満を感じることもなど、かつては考えられないことでした。事実、年輩世代の母親たちは「育児は生き甲斐(だった)」、「育児で成長できる(できた)」と、育児は自分の人生にとって、なによりもプラスの意味をもっていたと③述懐しています。育児が不安や不満の源泉などは、思ってもみないことだったので。(A)、現今の母親には育児不安に類する感情が、広くみられるようになったのです。

こうした最近の母親たちの態度に、女性がわがままになった、育児をないがしろにしているなどと慨嘆(がいたん)し非難するのは、④昔の母親たちの姿を知る者には無理からぬことでしょう。また、子どもの健やかな成長のための育児という大役を担っている者が不満や不安をもつなんて、とあきれ、⑤叱咤激励したくなるのも当然のことかもしれません。では、育児不安とは、どのようなもののでしょうか。いったいどのような要因が、そこに働いているのでしょうか。

素朴に考えますと、育児不安は、情緒不安定とか自制心が無いなど、その女性に性格や道義上の問題があるのではないかとも思いますが、女性自身が自己中心的になったといった批判もあるように、当の女性の心がけや性格の問題によるという見方です。

しかし、育児不安についての研究が進んでいくに従って、その原因は、個人の性格などに帰してしまうだけでは、説明がつかないことがわかってきました。

⑥育児不安を強めている要因の第一は、実は母親の職業の有無にあります。母親の職業といえば、働く母親は家族や子どもによくない影響があるのではないかなどといったことが、これまでも問われてきました。世間でも、働く母親の子どもに何か問題が起これると、母親が仕事をして

いるためにしつけがおろそかになっていいるなどと非難されることが多いものでした。特に三歳ぐらいまでの乳幼児をもつ母親が働くことに対しては、いまだに根強い批判があります。

⑤このような一般の懸念をうけて、母親が職業をもっていることが子どものしつけに悪影響を与え、結果として子どもの発達に問題が生じるのだろうか、という因果関係を確かめる研究がさかんに行われました。しかしそうした研究の結果は、一般の懸念を否定し、それがエコンキョのない偏見やオゴカイであることを実証しています。母親が有職か無職かの違いは、子どもの発達に直接の影響はなく、それどころか、子どもの自立の発達については、有職の母親の子どもの方が優れている場合が少なくないことさえも明らかにされています。

(B)、育児不安について研究が一致して明らかにしたのは、無職の母親つまり専業で子の養育役割を担っている母親の方に育児不安が強いことでした。逆に有職の母親、とりわけフルタイムで仕事をしている母親は育児不安が低くなっています。

なぜ育児不安が無職の母親の方に強いのでしょうか。このことは何を意味しているのでしょうか。そのことを考えるには、母親がなぜ無職になるかという問題にまでさかのぼる必要があります。

⑥日本の女性労働は、他の先進諸国とは際立った違いがあります。欧米諸国では、女性は学卒後就業し、中高年で退職するまで職業を継続するのが一般的です。もちろん、男性も同様です。ところが日本の女性は違います。学卒後就職しますが、三〇歳前後にかなりの人が退職して就業率は低下し、その後一部の人は復職しますが、復職せず職業に就かない人が少なくありません。そのため女性の労働力はM字型になるのです。三〇歳前後に大量に退職するのは、出産と育児のためです。これは、他国で女性が出産後も退職せず働きつづけるのと大きな違いです。

なぜ日本では、女性が出産・育児で退職するのでしょうか。「三歳までは母の手で」という言葉があります。この言葉に象徴される考え方や、それに基づいた社会的慣習や制度が、日本の女性のM字型労働の根です。

私は、このM字型が顕著な埼玉県から委嘱されて「仕事をなぜ辞めるか、辞めるとどうなるか」について調査研究をしたことがあります。そこで明らかになったことの一つは、この「母の手で」という規範意識が、退職する女性本人以上に、周囲とりわけその配偶者である夫や夫の親たちに強いことでした。女性自身は出産後も働きつづけたいと思っけていても、夫から「子育ては何といつても母親の役割」「自分は仕事に専心し稼ぎ手として頑張るから、その分、妻は育児を」といった説得にあつて、退職するケースが少なくなかったのです。それに追い打ちをかけるかのように夫の親たちも、夫と同様の意見をするケースが少なくないのです。しかも、そうしたケースでは育児不安が強いこともわかりました。

このように(育児は)「母の手で」という規範が日本では広く浸透しており、これが女性労働をM字型にしているのです。

ちなみに「母の手で」がいまも強く存在している背景として、一九七九年に制定された家庭基盤充実施策と保育基本法の存在が指摘できます。そこでは家庭役割、とりわけ子どもの保育は主婦の役割とされています。これは、同じ年、国連が可決した「あらゆる男女差別を撤廃する法案」

の精神とは真つ向から対立する性別分業の施策です。

④こうした政府の方針と、男性労働者の安定の場を家族に期待する企業の支持によって、「母の手で」は広く日本の社会に根付くことになったのです。もちろんそこには、「母の手で」を支持する強い世論があったことも事実です。しかし育児を男女共同のこととする世界的な潮流への敏感な姿勢が欠けており、そのことが日本の父親の育児参加を極めて少なくし、母親の孤立や不安を醸成している今日の問題につながっています。無職の母親とは「母の手で」を実践している母親にはかなりません。こうした「スローガン」を実践し、子育てをしている母親たちの方が育児不安が強いということは、皮肉なことではないでしょうか。

(柏木恵子『子どもが育つ条件―家族心理学から考える』岩波新書)

問一 傍線部アくオの、漢字には読みを付け、カタカナは漢字に改めなさい。

問二 二重線部 a と b の意味を答えなさい。

問三 (A) (B) に入る適切な語句を次から選び、記号で答えなさい。同じ記号は二回使用できないものとする。

ア つまり イ しかも ウ したがって エ ところが オ または カ そこで

問四 傍線部①「育児不安」とは何か。本文中の言葉をもとにして二〇字以内で説明しなさい。

問五 傍線部②「育児不安は、昔からあったものではなく、比較的、最近の現象です。」とあるが、昔の育児はどうだったのか。本文中の言葉をもとにして七〇字以内で説明しなさい。

問六 傍線部③「昔の母親たちの姿を知る者」なら現代の母親の「育児不安」の要因をどのように考えると予想できるか。本文中の言葉をもとにして二五字以内で説明しなさい。

問七 傍線部④「育児不安を強めている要因の第一は、実は母親の職業の有無にあります。」とあるが、このことについて本文中の言葉をもとにして六〇字以内で具体的に説明しなさい。

問八 傍線部⑤「この」は何を指しているか。次の「
」に入る言葉を本文中から見つけ、二七字で抜き出し解答しなさい。
「
二七字
」というような

問九 傍線部⑥「日本の女性労働は、他の先進諸国とは際立った違いがあります。」とあるが、どのように違うのか。本文中の言葉をもとにして八〇字以内で説明しなさい。また、日本がそのような原因を筆者の調査研究から探し、本文中の言葉をもとにして説明しなさい。

問一〇 傍線部⑦「こうした政府の方針」とあるが、どのような方針か。本文中の言葉をもとにして二〇字以内で説明しなさい。